

2024年1月9日

「住みよか協議会」を通じた官民金連携による“子育て世帯向け集合住宅の提供” および“断熱改修効果の検証実験”の実施について

株式会社十八親和銀行（取締役頭取 山川 信彦）は、長崎市より「住みよかプロジェクト協力認定」を受けた「住みよか協議会」を通じて、官民金連携による“子育て世帯向け集合住宅の提供”に参画いたしますのでお知らせいたします。

今般、「住みよか協議会」では、長崎市、株式会社福德不動産（以下、福德不動産）、株式会社LIXIL（以下、LIXIL）、弊行の官民金4者が連携し、使用されなくなった社宅に対して、断熱性向上やIoTによるスマートホーム化を図るリノベーションを行い、子育て世帯向けの「未来型集合賃貸住宅」として提供します。なお、断熱効果については、LIXILにより室内温熱環境の実測データ取得、分析が行われます。

- 「住みよかプロジェクト」とは、長崎市が若者や子育て世帯に選ばれる魅力的なまちを目指し、若い世代をターゲットに住宅施策の面から人口減少対策ができないかとの観点で住宅にかかる課題把握、人口動態や市場分析、市民のみなさまのニーズをベースに官民連携し環境の改善を図る取り組みです。

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/sumai/730000/731000/index.html>

- 「住みよか協議会」とは、十八親和銀行が長崎市の「住みよかプロジェクト協力認定」を受け主催する協議会で、空家活用活性化、分譲宅地造成、社宅共有化、リースバック活用検討などテーマごとに分科会を通じて、地場企業主体によるソリューションの検討、官民意見交換を経て、実証実験・実装プロジェクトの創出を目指します。

本事業は、長崎市における人口減少対策の一環として、子育て世帯に向けた子育てのしやすい賃貸住宅を供給するものであり、未来の住宅において必要とされる住宅性能に加え、IoTの最新設備を導入するとともに、室内温熱環境の実測データに基づく断熱効果の検証実験を併せて行う新たな官民金連携事業モデルを構築し、行政と民間の連携事業として実施するものです。

本事業により、断熱性の向上による消費電力や排出CO₂の低減など、SDGsへの貢献を目指すと同時に、IoTによる子育て世帯の住環境を改善し、便利で豊かな暮らしを提供できるものと考えております。

十八親和銀行では、行政や地場企業等と連携し、地域の活性化に資する取り組みを行ってまいります。

「住みよか協議会」を通じた官民金連携

- 官民金意見交換
- ソリューションの検討



- ✓ 取得した建物を子育て世帯向け集合住宅にリノベーションし、賃貸住宅として供給

LIXIL

- ✓ リノベーションの支援
 - ・内窓と外付日よけの設置による断熱性向上
 - ・IoTによるスマートホーム化



- ✓ 住みよか協議会に対する助言・情報提供
- ✓ 住みよかプロジェクト協力認定制度の活用



- ✓ 住みよか協議会の運営（民間によるソリューションの検討の場の提供）
- ✓ 使用されなくなった社宅を有償譲渡

※次項もご参照ください。

《 本件に関するお問合せ先 》

住みよか協議会事務局：十八親和銀行 地域振興部 担当：木村・飯塚

TEL 095 - 827 - 8609

【ご参考情報】

< 物件の所在 > 長崎市桜馬場二丁目7-1 1（長崎市立桜馬場中学校近隣）

(略図)



(外観イメージ)



(内観イメージ)



< LIXILが実施するリノベーション支援と期待される効果 >

リノベーションの内容	期待される効果
内窓と外付日よけの設置による断熱性向上	①断熱効果（ヒートショック予防）、②結露軽減（健康快適）、③遮音効果（子どもの声も気にならない）、④UVカット（室内熱中症予防）、⑤侵入抑止効果（安心安全）、⑥経済性（光熱費削減）
IoTによるスマートホーム化	外出先からスマホで確認（鍵や窓の閉め忘れ、子どもの見守りなど） 外出先からスマホで操作（玄関の施錠、エアコン、照明など）

“内窓”、“外付日よけ”の設置による断熱性向上と“IoT”によるスマートホーム化の詳細は、下記URLよりLIXILホームページをご参照ください。

- 内窓／インプラス : <https://www.lixil.co.jp/lineup/window/inplus/>
- 外付日よけ／スタイルシェード : <https://www.lixil.co.jp/lineup/window/styleshade/>
- IoT／ライフアシスト 2 : <https://www.lixil.co.jp/lineup/smarthome/lifeassist2/>

以上